

概 要 報 告

実施期日	令和8年8月5日（水）
部会名	中学校 総合的な学習の時間部会

研究主題

個々の子どもの困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫（子どもの発達の支援）

テーマ

『自分らしい生き方の実現を目指す支援の工夫

～自立と社会参加に向けたキャリア教育～』

提案概要

本実践では、特別支援学級におけるキャリア教育を、単に将来の職業を選択するための学習ではなく、「自分らしく社会で生きる力」を育てる学習として位置付ける。生徒一人一人の実態や課題に応じて、自己理解、働くことや社会とのつながりの理解、社会参加に必要な力の育成を柱として学習を進める。具体的には、職場体験の下見や「働く」とは何かを考える学習、自分の得意・不得意や興味を整理するワークシート、興味のある職業について調べて発表する活動を行う。また、職場体験では事前学習から当日の体験、レポート作成・発表までを一連の学習として実施し、経験を振り返りながら学びを深める。さらに、家族への職業インタビューや職業講演会、企業見学など、実社会とつながる機会を広げる。これらの活動を通して、自己理解を深めるとともに、挨拶・報告・時間管理・コミュニケーションなど、将来の自立や社会参加につながる力を育成する。

質疑応答

質疑応答は、特になし。

協議の柱及び協議概要

【協議の柱】

●総合的な学習の時間で自己理解・自己肯定感を育むためにどのような授業を実践しているか。

○キャリア教育を通して、生徒の自立と社会参加につながる力をどのように育成するか。

【協議概要】

●染物体験や将来就きたい職業調べなどの活動を通して、自己理解につなげる。小学校で職場体験というキャリア教育は行っていないが、「できた！」と子どもたちが思えるような体験を行うことを通して自己肯定感にもつなげたい。

●「総合の学習の時間」という名前の授業ではなく、「セルフディスカバリー」という名前で授業をしている。3年間を見通して各学年で行う活動を定めており、1年次は「自己理解」と「他社理解」をテーマに、自分について考えを深めたり、異なる立場の方々の話を聞いたりする。2年次は身近な人から外部の人まで様々な方々にインタビューを行う。3年次は、進路に向けて「自己探究」をテーマに活動していく。

●「ヒーロー・ヒロイン」という活動。各学期や行事の振り返り時に、クラスメイトにメッセージを書き、直接本人に渡しに行くことで、自己理解・自己肯定感・存在意義の深化につなげる。

○地域の商店街とコラボレーションした商品開発。お店の魅力について知ったり、地産地消について学んだりすることができた。

○ベルマーレと共に持続可能な社会について考える。子どもがプレゼンテーションを行い、企業の方々に聞いてもらい、アドバイスをもらうことができた。一方で、現実に直面させられたり、発表に向けての準備に時間がかかったりと課題もあった。

まとめ概要

本実践を通して、生徒が自分の得意・不得意を理解し、将来について具体的に考える姿や、働くことへの興味・関心を高める姿が見られた。「働くことは大変だが、やりがいもある」ということに気付くことができた。また、自分の経験を振り返りながら、人前で伝える力も育った。一方で、自己理解や将来へのイメージ、言葉で自分の考えを表現する力には個人差があり、視覚的支援や対話的な活動の工夫が課題である。今後も小さな成功体験を積み重ね、生徒が自分の将来に希望を持ち、主体的に社会参加できるよう継続的に支援していく。